

- 問1 和歌山県南東部、紀伊半島に位置する新宮地域は、背後に険しい山地を抱え、熊野川の河口付近に市街地が形成されています。この地域の伝統的な産業の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. リアス海岸の複雑な地形を利用して、真珠やカキの養殖業が地域経済を支えている。
 2. 熊野川の水運を利用して、上流の山地から運ばれた木材を加工する製材業が発展した。
 3. 大規模な港湾施設を整備し、海外から鉄鉱石を輸入する鉄鋼業が中心となっている。
 4. 広大な平野と温暖な気候を活かして、輸出向けの施設園芸農業が発達した。
- 問2 瀬戸内地域の気候特性を説明した資料において、夏場の降水量が周辺の地域と比較して非常に少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 標高の高い盆地状の地形であり、年中フェーン現象が発生し続けるため
 2. 北側に位置する中国山地が、太平洋から吹き込む湿った季節風をさえぎるため
 3. 南側に位置する四国山地が、太平洋から吹き込む湿った季節風をさえぎるため
 4. 対馬海流の影響によって、夏場に乾燥した上昇気流が発生しやすくなるため
- 問3 和歌山県などの近畿地方南部において、みかんの栽培が平地ではなく山地の斜面で盛んに行われている理由として、栽培に適した自然条件の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 標高が高くなることで害虫の発生を抑え、農薬を使用せずに栽培することが可能になるから
 2. 平地に比べて気温の日較差が非常に大きく、冬の寒さを利用して果実を甘くできるから
 3. 傾斜地は土壌の水分が蒸発しにくく、年間を通じて常に湿潤な環境を保つことができるから
 4. 太陽の光が効率よく当たり、水はけが良いという果実の成長に適した条件が整っているから
- 問4 近畿地方の農業に関する統計において、ある府県の果実産出額が六百七億円に達し、他の府県と比較して突出した数値を示している資料があります。この府県は高い林野率と長い海岸線を併せ持っていますが、ここで温暖な気候と傾斜地を活かして大規模に栽培されている果実を選びなさい。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. りんご
 2. みかん
 3. さくらんぼ
 4. ぶどう
- 問5 近畿地方のある府県は、面積が地方内で最小であるにもかかわらず、工業製品出荷額が約16兆円に達しています。このような統計的特色が見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 豊かな森林資源を背景とした伝統的な木材産業が、現代の先端技術と結びついているため。
 2. 県庁所在地以外の都市に人口が分散しており、各都市で特産品の製造が独立して行われているため。
 3. 古くから商業の拠点として発展し、現在は阪神工業地帯の中核として多くの工場が集積しているため。
 4. 広大な平野を利用した大規模な機械化農業が盛んで、農産物の加工業が発展しているため。
- 問6 歴史的な景観を重視する地区において、地上にある電柱を撤去し、電線を地下に埋める取り組みが行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 街灯の数を減らすことで、夜間の電力消費を抑え、環境負荷を低減するため
 2. 歴史的建造物を取り壊し、跡地に近代的なオフィスビルを建設しやすくするため
 3. 大型の緊急車両が通行できるように、道路の幅員を大幅に広げるため
 4. 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため
- 問7 和歌山県の産業の特徴について、梅の生産に関する2022年のデータ（全国合計の収穫量9万6600トンに対し、和歌山県は6万4400トン）に基づいた説明として、全国シェアの割合が最も近いものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 全国シェアの約八十七パーセントを占めている
 2. 全国シェアの約六十七パーセントを占めている
 3. 全国シェアの約二十七パーセントを占めている
 4. 全国シェアの約四十七パーセントを占めている
- 問8 近畿地方の人口移動に関する統計を分析すると、周辺の府県から特定の地域へ向けて、通勤や通学を目的とした大規模な人の動きが見られます。このように、京都府、兵庫県、奈良県といった近隣の県から多くの流入人口があることで、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている、近畿地方の経済・文化の拠点となっている府県はどこですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 大阪府
 2. 京都府
 3. 兵庫県
 4. 和歌山県
- 問9 近畿地方の人口分布や高齢化の状況について述べた次の文のうち、滋賀県の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
1. 大阪府や京都府への通勤圏として発展しているが、県庁所在地の奈良市を中心に高齢化が急速に進んでいる。
 2. 紀伊半島に位置する和歌山県と同様に、農村部の過疎化によって高齢者の割合が非常に高い。
 3. 近隣の府県と比較して65歳以上の人口が占める割合が最も低く、大津市に県庁が置かれている。
 4. 県庁所在地を大津市としており、近畿地方で唯一、高齢者の割合が30%を超えている。
- 問10 兵庫県の産業統計において、特定の地域では化学工業の製造品出荷額が非常に高い一方で、別の地域では繊維工業が地場産業として根付いています。このような産業分布が形成された背景と現状に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 海外への輸出を縮小し、国内市場のみに特化するために、石油化学コンビナートを内陸部へ移転させる政策が進んでいる。
 2. 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。
 3. 兵庫県は伝統的工芸品の指定数が全国で最も多いため、すべての地域で重化学工業よりも繊維工業の出荷額の方が高くなっている。
 4. 内陸部の急峻な地形が石油精製施設の建設に適していたため重化学工業が発達し、臨海部では砂浜を利用した繊維の天日干しが行われている。
- 問11 近畿地方の各府県に関する統計資料において、伊勢湾に面し、三重県の行政の中心である県庁所在地として記載される都市はどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 津市
 2. 松山市
 3. 大津市
 4. 四日市市
- 問12 近畿地方の農業統計において、和歌山県はミカンやウメなどの果実産出額が非常に高いことで知られています。長い海岸線を持つ和歌山県でこのような果樹栽培が盛んな理由として、太平洋を北上する「日本海流（黒潮）」がもたらす自然環境の影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響によって冬に多くの雪が降り、水資源が豊富なため。
 2. 寒流の影響によって夏でも涼しく、霧が発生しやすいため。
 3. 暖流の影響によって冬でも気温が下がりにくく、温暖な気候になるため。
 4. リマン海流の影響によって年間を通して気温の変化が小さいため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 熊野川の水運を利用して、上流の山地から運ばれた木材を加工する製材業が発展した。	新宮地域は、日本有数の多雨地帯である紀伊山地を背後に持っています。かつては道路網が未発達であったため、山で伐採された木材は熊野川の水流を利用した「筏流し」によって河口の新宮まで運ばれました。この地理的条件により、河口付近では古くから製材業が盛んになりました。
問2	答え 3 南側に位置する四国山地が、太平洋から吹き込む湿った季節風をさえぎるため	日本の夏は、太平洋側から湿った南東の季節風が吹き込みます。瀬戸内地域の場合、その手前に位置する四国山地で湿った空気が遮られ、山を越えて吹き下ろす乾燥した空気が流れ込むため、七月などの夏場に降水量が少なくなるというメカニズムが生じます。同様に、冬は中国山地が日本海側からの北西の季節風を遮るため、一年を通して乾燥しやすくなります。
問3	答え 4 太陽の光が効率よく当たり、水はけが良いという果実の成長に適した条件が整っているから	みかんの栽培には、十分な日照量と、根腐れを防ぐための良好な排水性が必要です。傾斜地は平地に比べて太陽光を垂直に近い角度で受けやすく、雨水が停滞せずに流れやすいため、高品質なみかんを生産するのに適した地形的条件を備えています。
問4	答え 2 みかん	和歌山県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、県土の多くを占める傾斜地を有効に活用しています。特に水はけが良く日光が当たりやすい斜面はみかんの栽培に最適であり、近畿地方において圧倒的な果実産出額を誇る要因となっています。
問5	答え 3 古くから商業の拠点として発展し、現在は阪神工業地帯の中核として多くの工場が集積しているため。	大阪府は歴史的に「天下の台所」と呼ばれる商業の中心地であり、その基盤をもとに製造業も大きく発展しました。狭い面積の中に多くの事業所や工場が集中し、兵庫県や京都府などの近隣府県と比較しても、単位面積あたりの生産性や人口密度が非常に高いという構造的な特色を持っています。
問6	答え 4 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため	電線の地中化は、視覚的に邪魔な構造物を排除することで、古い町並みの雰囲気을最大限に引き出す目的で行われます。これにより、観光客にとって魅力的な景観が創出され、地域経済の活性化にもつながります。また、景観の向上だけでなく、電柱がなくなることによって歩行者の安全性が高まったり、地震などで電柱が倒壊するリスクを防いだりする防災上の利点も併せ持っています。
問7	答え 2 全国シェアの約六十七パーセントを占めている	和歌山県の収穫量（6万4400トン）を全国合計（9万6600トン）で割ると、その割合は約0.66...となります。これはパーセントに換算すると約67パーセントに相当し、全国の収穫量の3分の2を和歌山県が担っているという特筆すべき産業構造を示しています。このような高いシェアを持つ背景には、ブランド化された「紀州梅」の生産・流通体制の確立があります。
問8	答え 1 大阪府	大阪府は近畿地方の中心的な都市機能を備えており、周辺の各府県と鉄道網などで強く結ばれています。そのため、仕事や通学のために近隣の県から日々多くの人々が移動してくる「流入人口」が多いのが特徴です。その結果、居住者数を示す夜間人口に比べて、日中に活動している昼間人口が非常に多くなり、地域の拠点としての役割を果たしています。
問9	答え 3 近隣の府県と比較して65歳以上の人口が占める割合が最も低く、大津市に県庁が置かれている。	滋賀県は、京阪神へのアクセスが良いことから若年層や子育て世代の流入があり、2017年の資料では近畿地方で最も高齢化率が低い（24～27%）地域として示されています。県庁所在地は大津市であり、県全体の人口動態を考える上で重要な知識となります。
問10	答え 2 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。	重化学工業、特に石油化学工業は原料となる原油を大型タンカーで輸入するため、水深の深い港を持つ臨海部にコンビナートが形成されました。一方、内陸部では古くからの農閑期の副業や特産品を起源とする地場産業が発展してきました。近年ではこれらの地場産業が、単なる伝統の継承にとどまらず、現代のニーズに合わせたブランド戦略を展開することで、地域の経済を支えています。
問11	答え 1 津市	伊勢湾の西岸に位置する津市は、三重県の行政機能が集中する県庁所在地です。三重県内では四日市市が最大の人口を擁し、中京工業地帯の一角として石油化学コンビナートが広がる工業都市ですが、県庁は置かれていません。また、名称が似ている大津市は滋賀県、松山市は愛媛県の県庁所在地であるため、漢字の書き分けや位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問12	答え 3 暖流の影響によって冬でも気温が下がりにくく、温暖な気候になるため。	太平洋側を流れる黒潮は暖かい水を運ぶ暖流です。この海流が近畿地方の南側を通過することで、和歌山県などの沿岸部では冬の冷え込みが和らぎます。この温暖な気候が、寒さに弱い柑橘類（ミカンなど）の栽培に非常に適しているため、果樹栽培が発展しました。